

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	観光型ホテル（営業担当）	・予約状況を見ると、この先3か月くらいで前年をはるかに上回る来客があるのではないかと予想される。景気は良くなる。
	やや良くなる	スーパー（総務担当）	・総額表示導入による一時的な売上の落ち込みも徐々に解消され、購買も少しずつ上向きになる。
		スーパー（経理担当）	・商品単価の長期下落傾向は続いているが、客数、1人当たり買上点数は増え続けており、購買意欲が減退しているとは思えない。
		衣料品専門店（経営者）	・来客数が徐々に増えつつある。客単価も上がっているのので、先の見通しは明るい。
		衣料品専門店（総務担当）	・来客数が前年を上回り、商品へのコンタクトも多い。
		家電量販店（経営者）	・オリンピックに向けて、薄型テレビ・DVD等のデジタル機器の売行きが良くなってきた。
		乗用車販売店（従業員）	・新車販売の受注台数が伸びている。
		一般レストラン（経営者）	・3か月後はイベント、企画等が増えてくる。前年に比べるとイベントの当たりも良いし、客の反応も非常に良いので、少しは良くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・金融機関や生命保険会社の頭取、社長の交代のパーティ等が復活しているので、少し上向きになる。
		都市型ホテル（副支配人）	・夏以降の団体の予約、問い合わせが非常に活発になっているため、景気は良くなる。
		旅行代理店（従業員）	・海外旅行では、ビーチリゾート等への集客が大きく伸びている。国内旅行についても沖縄が大きく伸びており、今後も期待できる。
	ゴルフ場（従業員）	・入場者は、子供も含め1割ほど増えた。コストの面で正社員のキャディをパートのキャディに切り替え、収支上は利益が出ている。また、イベント等を数多く行い、来場者数を増やすことで、若干単価を落としてもやっていける状況にある。	
	変わらない	商店街（代表者）	・近隣の百貨店がリニューアルオープンし、大売出を行っている。それに追い討ちをかけるように別の百貨店も大売出を行い、客は私たちの商店街には見向きもしない。
		商店街（代表者）	・新しくできる駅ビルに出店するために、当商店街からの撤退が相次いでおり、消費流出とあいまって危機感が更に強まっている。
		百貨店（売場主任）	・新しいトレンドが出てくる兆しが見えないので、景気は上向かない。
		百貨店（営業担当）	・9月の鹿児島中央駅ビルオープン等、消費意欲を刺激する要因もあるが、地域間競争は激化する。
		百貨店（営業担当）	・従来のように前年実績を下回るという状況はなくなりつつあるが、従来よりも伸張するという状況ではない。
		百貨店（売場担当）	・父の日ギフトが前年比15%減となり、厳しい月になった。来月以降は特に景気が回復するプラス要因が見つからない。依然として厳しい状況が続いていく。
		百貨店（業務担当）	・実売期にダウンしている衣料品については、処分期に盛り返す期待感はあるものの、景況感には結び付かない。
スーパー（店長）		・食品の惣菜類等のいろいろな商品を、価格競合と総額表示導入に伴い、実質値下げをしている。また、輸入商品や単価の高い商品の売上が非常に落ちている。この先も単価ダウンがしばらく続く。	
コンビニ（エリア担当）		・話題性のある商品・企画等が以前より少なく、また反応が薄い。売上チャンスを店舗独自で考えなければならないが、その力がない。	
コンビニ（エリア担当）		・総額表示導入により、客の買上点数が減少傾向にある。また、コンビニ業界も更に競争が激化しており、今後も多くの出店があることから、既存店の業績は上向きにならない。	
家電量販店（店員）		・オリンピック効果がほとんど見受けられず、7～8月に期待したいが厳しい状況にある。	
家電量販店（店員）		・パソコンの買換え需要が高まっている。ただし、需要が競合他社に分散しているの、今とさほど変わらない。	
乗用車販売店（従業員）		・客は古くなってきた車も修理して辛抱しており、なかなか代替もっていくのが困難になっている。	

		乗用車販売店（販売担当）	・価格については低価格志向が依然として基本にある。販売量についてもそれほど伸びることはない。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・大型商業施設の影響は変わらずあるが、有力商品の発売も予定されている。プラスマイナスゼロで変わらない。
		その他専門店〔医薬品〕（従業員）	・客数はこのまま上昇傾向にあると思われるが、客単価がどこまで上がるか判断できない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・現在の予約状況や営業部門の状況からは、2～3か月後は良好とは言いがたい。
		旅行代理店（業務担当）	・夏の旅行の主役である家族旅行の先行受注状況が、国内・海外ともに前年より悪い。ファミリー層は申込に慎重になっている。中高年齢層で高額・限定企画等の旅行の申込が良くまっているのとは対症的である。
		住宅販売会社（従業員）	・最近、建売物件の契約状況が悪いが、秋ごろには動きが出てくる。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・客が、土日はほとんど郊外店に流れていく。空き店舗が増え、買いたい商品がないというのがひとつの原因である。この傾向が今後も続く。
		住関連専門店（経営者）	・地元の中堅小売店が今月倒産した。来客数の減少による売上不振であると思われる。家具業界は、当面は景気の回復は望めない。
		一般レストラン（スタッフ）	・ガソリンの値上げにより、消費者が他の出費を抑え、外食に影響するのではないかと危惧している。
		観光型ホテル（スタッフ）	・昨年は高校総体等の特需があったが、今年はこれといったイベントがなく、先が読めない。また昨年は個人催事の婚礼が順調に伸びていたが、今年の第2四半期はかなり下回っている。
	悪くなる	衣料品専門店（店長）	・郊外型の大型商業施設店の出店は相変わらず我が町の周辺で続いているため、来客数は減少するばかりである。しかし、その大型店の売上も必ずしも良くはない。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	農林水産業（経営者）	・BSEの影響で牛の輸入に制限があるため、鳥の加工原料の引き合いが特に強い。本格的な夏場に向けて、消費拡大に期待している。
		食料品製造業（経営者）	・九州新幹線がどの程度よい影響を与えているか、今一つ明確ではなかったが、売上増の原因を観光分野に限り調べてみると、新幹線開通に伴う観光客の鹿児島への流入アクションとその増加が観察された。この傾向はもうしばらく続く。
		家具製造業（従業員）	・東京での建築ラッシュはバブル期以上の勢いがあり、受注価格の厳しさはあるものの需要はおう盛である。このような状況は数か月遅れて地方に飛び火するため、九州も緩やかな回復基調にある。
		広告代理店（従業員）	・新聞折込広告は、今月から折込枚数が増え始めた。塾のチラシやバーゲン商戦のチラシ等の季節的な要因以外にも、一般的なチラシもやや増加の気配が見え始めている。折込枚数の増加は、消費活性化の兆しを表している。
		経営コンサルタント	・焼酎関連の設備投資が今以上に進む。芋焼酎から麦焼酎まで品不足で値上げ状態になる。したがって、メーカー、卸、小売とも活発になり、利益の確保ができるようになる。
	変わらない	鉄鋼業（経営者）	・中国・韓国における原材料の在庫買い増しに伴い、日本側における原材料価格の上昇が顕著となると予測される。上昇分を価格に転嫁しようとするメーカー側と、抑制しようとする需要家側との綱引きが続く。
		一般機械器具製造業（経営者）	・依然として受注単価には厳しいものがある。
		精密機械器具製造業（経営者）	・受注は問題ないが、取引先の一部で海外生産が強化され、量産物に対する海外生産が今後増えるという不安がある。
		建設業（総務担当）	・官民合わせて総体的に工事の受注が少ない。各社受注量を確保するため、赤字受注でもかまわない様相である。このような状態が続く限り、先々が不安である。
		輸送業（総務担当）	・ほとんど貨物の荷動きに変化がない。今と同様にしばらく推移する。
		不動産業（従業員）	・賃貸オフィス・マンションの家賃が、依然として下落傾向にある。
	やや悪くなる	食料品製造業（専務）	・販売量や来客数が悪くなっている。客も必要な物以外は購入しない傾向は続いている。

		電気機械器具製造業 (経営者)	・半導体関連の大手の話では、リードフレーム関連に関して、8月のオリンピックまでの景気となるのではないかと。それ以後は少し静寂し、下降線をたどるのでないかという話も出てきた。先行きは不透明である。
	悪くなる		
雇用 関連	良くなる	民間職業紹介機関(支 店長)	・求人職種の中でも、営業・販売職需要は前年の1.7倍である。また、都銀・地銀、信販等の金融機関も1.3倍である。モノが売れることに加え、サービス産業からの求人需要も根強い。当分この傾向が続く。
	やや良くなる	人材派遣会社(社員)	・最近派遣の稼働者数の中で、正社員を望む求職者数が増えている。募集の際、正社員と契約社員では極端に応募数が違うという状況も出ている。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	・政府の若年労働力の就職支援により、労働市場が活況になっている。
		新聞社[求人広告] (担当者)	・やや良くなると思われるが、地場の動きが安定していない。
		職業安定所(職員)	・倒産事業所がまだ出ているが、それを引き継ぐ会社が出ており、そう悪くならない。求人数の減少と就職数の伸びから、今後は若干良くなる。
		職業安定所(職員)	・一般貨物運送業から求人が増加している。物の動きが活発になっており、景気は上向きである。
	変わらない	職業安定所(職員)	・直接雇用の常用求人の増加があまり期待できない。所得の増加が見込めない。
やや悪くなる	-	-	
悪くなる	-	-	